

## わたしの素敵なエピソード

本年9月30日に、鴻巣市が誕生して70周年を迎えました。

そこで、「70」にまつわる市民の皆さんの素敵なエピソードを紹介します。



問合せ 秘書課(内線2012)

すくすく育って

70

か月

小島 千紗 ちゃん

今年の10月6日で、生まれて70か月になります。3人姉弟の真ん中で、落ち着いた遊びが好きな甘えん坊。今は、人形遊びやあやとりに夢中みたいです。

通っている鎌塚保育所では、スイカなどの野菜を育てていて、年長児が世話をすることになっています。お盆の頃に収穫するのを、とても楽しみにしていました。フウセンカズラなどの植物も育てていて、種がたくさん採れるのが気に入っているようです。のんびりとした雰囲気、自然にふ

これから鴻巣でのびのび育ってね



小島 千紗 ちゃん (左)  
小島 望 さん (右)

竹馬の友

70

年来の友情

矢澤 利喜 さん



矢澤 利喜 さん (左)  
小嶋 勇 さん (右)

5人のメンバー(右下写真)で、100円玉を握りしめ、早朝から地図も持たず自転車で秩父長瀬に行ったことがあります。

学校から帰ると、野通川で泳いだり、神社に行つて夕方まで遊びました。

小学生の夏、登校時は半ズボン姿でカバンを背負って近所の家に集まり、旧広田小学校までの1.5kmほどの道を歩いて登校しました。途中の川には、一本の丸太がか

道が整備され、かやぶき屋根の家はなくなりましたが、あの頃のメンバーとは今も交流が続いています。これからも定期的に集まりながら、鴻巣で暮らしていきたいです。

大冒険の思い出



登校前の集合写真(昭和36年・川里)▲  
矢澤さん6年生(左)・小嶋さん4年生(中央)



## 生まれて過ぎて **70** 年 小川 一郎 さん

これから大好きな川里で



小川 一郎 さん (左)  
小川 はるみ さん (右)

私たち夫婦は生まれも育ちも川里で、夫は8月に70歳を迎えました。夫は、24年前からパーキンソン病を患っており、最近では嚥下障害になってしまい、美味しいものを食べるにも行けず、車椅子生活なので旅行に行くこともできなくなりました。

この写真(左)は、昨年

一時的に入院した夫が無事に回復し、70歳になる記念にと撮影したもので、とても気に入っている一枚です。

病気で大変ですが、子どもたちがサポートしてくれたり、近所の方が畑仕事を手伝ってくれたり、助けられています。いつまでも元気でとはいえないですが、今までどおり自宅で生活することが、夫にとって一番の幸せなんだと思います。これからも大好きな川里で過ごしていきたいと思っています。

## 地場産業を支えて **70** 年 株式会社マル武人形

人形のまち鴻巣を全国に

先祖代々続くひな人形の店として、「人形のまち鴻巣」の地場産業を担い、今年度、会社設立70年を迎えます。

私が子どもの頃、人形町に10店舗あったひな人形の店も、今は5店舗になりました。ひな壇は7

段飾りから、3段、親王飾りと主流が移り変わります。少し寂しい思いもあります。ひな人形のデザインや色目も時代と共に変化してきましたが、製作したひな人形を全国に卸売りをする会社のスタイルは、今も昔も変わっ

ていません。

子どもがや病気から守るといって、ひな人形の意味合いに、心を打たれるお客さんがいるのが印象的で、ただモノとして売るだけではないこの仕事を続けてきてよかったと感じています。

これからも応援してくれるたくさんの人に感謝しながら、使命感を持って、時代のニーズをとらえつつ、鴻巣でひな人形の製作や販売を続けていきたいです。



代表取締役社長  
関口 典宏 さん



第1号(昭和30年2月)  
最初は「鴻巣市政だより」という名称でした。



第202号(昭和49年4月)  
「広報こうのす」に名称が変わりました。



第647号(平成17年10月)  
合併を記念して「かがやき」の愛称がつけました。



第875号(令和6年10月)  
広報紙リニューアル。  
ロゴを「鴻巣」に変更しました。

### 市政情報を届けて70年

「広報こうのす」も昭和30年2月に第1号を発行してから、今月号で875号になりました。これからも「見やすく、分かりやすく、市政情報・市の魅力が伝わる広報紙」をお届けします。

# なないろの 笑顔咲かせる 鴻巣市

鴻巣市のこれまでの歩みや70周年記念式典の様子などを紹介します。

問合せ 総合政策課(内線2236)

昭和29年9月30日、  
県下17番目の市として『鴻巣市』が誕生

昭和28年、町村合併により自治体運営の合理化・効率化を図り、住民福祉の増進に向けた規模の適正化を促進するため「町村合併促進法」が施行され、全国的に町村合併が進められました。

このような中、昭和29年7月、鴻巣町・箕田村・田間宮村・馬室村・笠原村の1町4村が合併し、新「鴻巣町」となりました。その後、同年9月30日の常光村との合併と同時に市制を施行し、「鴻巣市」が誕生しました。

時を同じくして、昭和29年

7月、吹上町は小谷村と合併、翌年9月に太井村大字北新宿を編入、10月には下忍村と合併しました。また、川里村(当時)は、昭和29年3月に屈巢村、廣田村、共和村の合併により誕生し、平成13年5月に町制を施行しています。

「昭和の大合併」以降、高度経済成長期を迎え、人口の増加と併せて、学校や道路、上下水道などの公共施設やインフラの整備が急速に進みました。

平成中期に入り、地方分権の進展や少子高齢化の進行、日常生活圏の拡大、高度化・多様化する住民ニーズ、厳しい財政状況への対応などの必要性から、平成16年7月、鴻巣市・川里町・吹上町合併協議会を設置し、合併に向けた協議を進めました。

そして、平成17年10月1日、1市2町が合併し、現在の「鴻巣市」として、新たなまちづくりをスタートし、令和6年9月30日に、市制施行70周年を迎えました。

## 70周年記念式典の様子

これまで先人たちが築いてきた歴史を振り返り、未来に向けて夢と希望に満ちたまちづくりを継承するため、10月1日、クレアこうのすで市制施行70周年記念式典を挙行了しました。

当日は、来賓や表彰受賞者の方々など、800人を超える皆さんが出席しました。

市政功績者表彰受賞者は10・11ページでご紹介します。



▲70周年記念キャッチコピー採用者  
大町璃桜さんに記念品贈呈



▲オープニングミニコンサート  
アンサンブル鴻巣ヴィルトゥオーゾ

## 年表で振り返る鴻巣市 この10年間の主な出来事

2015年

- 市役所新館オープン①
- 健康づくり都市宣言

2016年

- 未来議会で「のすっ子宣言」採択②
- ひなちゃん子育て応援基金創設

2017年

- 市役所本庁舎改修工事終了
- 健康長寿優秀市町村表彰初受賞

2018年

- シティプロモーション動画「ともだち」完成
- デマンド交通実証運行開始③

2019年

- 保育ステーション開設
- 鴻巣駅東口駅通り地区再開発ビル完成④

2020年

- 北新宿生涯学習・児童センターオープン
- 花と緑の都市宣言

2021年

- 鴻巣版GIGAスクール本格運用開始⑤
- 鴻巣市ゼロカーボンシティ宣言

2022年

- コウノトリ野生復帰センターオープン⑥
- にぎわい交流館「にこのす」オープン

2023年

- 「SDG s 未来都市」に選定⑦
- 大間近隣公園オープン

2024年

- 「こどもまんなか応援サポーター」宣言⑧
- 市制施行70周年記念式典挙行



## 70周年記念事業PRパートナーが鴻巣市をPR（一部紹介）



ラッピングトラックで全国に鴻巣をPR  
ロードネット株式会社



70周年記念PRポスターの作成・提供  
株式会社アサヒコミュニケーションズ



車両へのラッピングで70周年をPR  
株式会社JM



70周年まんじゅうの製作・販売  
御菓子司もみじや

市制施行70周年を記念して「鴻巣市市制施行70周年記念事業PRパートナー」を募集・認定しています。PRパートナーに認定した団体や事業者の皆さんとともに、市制施行70周年をお祝いし、市民の皆さんの機運醸成と地域の活性化を図っています。

PRパートナーは市HPで  
紹介しています▶

